

健康

けんこう
health

健康は「ふだんのくらしのしあわせ」の基本。健康でいるだけで生活の質が高まり、健康な人が増えれば市全体も元気になります。南アルプス市は市民のみなさんの健康づくりを応援します！



南アルプス市健康リーグ

市民が気軽に健康維持に取り組める事業を行い、健康意識向上で地域全体の元気を高める「健康からまちづくり」



いきいき百歳体操

地域の公会堂などでDVDを流しながら行う体操プログラム。専門家がなくても住民の手でできる介護予防

関心

かんしん
interest

身近な地域の出来事や気になる誰かの様子に目を向けてみると様々な気づきがあります。支えあう地域づくりに多くの人が関心をもち自分事として関わられるよういろいろな形できっかけをつくります！



ふくし勉強会

ゴミ屋敷や孤立、虐待などの問題を掘り下げ、住民が福祉に関心をもつきっかけにしてもらう社会福祉協議会の取り組み



地域ささえ愛セミナー

地域福祉に関わる市内の様々な活動や新しい社会の動きを広く市民に紹介し、現状やこれからの考えるセミナー

活動

かつどう
activity

支えあう地域づくりは市民の誰もが主役です。「困っている人を支える」「お互い様で助けあう」「居場所や役割ができる」様々な活動に大変さや負担感だけでなく楽しさや達成感もあるよう地域活動を応援します！



自治会・組への加入
ごみ収集や清掃、防災、集会所の管理など安全・安心な地域づくりのための最も身近な住民参加の形



地域支えあい協議体
小地域の課題に応じて、買い物支援や居場所づくりなど住民主体の生活支援を考え実行する取り組み

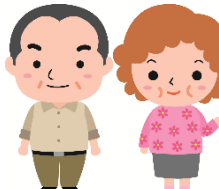


あったかカード
高齢者や障害者などの災害時の避難支援のため平常時から隣近所の見守り体制をつくる取り組み

相談

そうだん
consultation

困りごとを抱えても孤立することなくあきらめることなく「困った」と言えることは生きるための何よりのセーフティネットです。南アルプス市は市民のみなさんの相談を丸ごと受け止めます！



民生委員児童委員
厚生労働大臣から委嘱を受け、住民の一員として、市内 177 人が活動する身近な福祉の相談相手



コミュニティソーシャルワーカー
生活の困りごとからご近所の「ちょっと気になる」まで社会福祉協議会の専門職に気軽に相談できる地域福祉のアナウンス相談窓口



福祉総合相談体制
高齢・障害・子ども・生活困窮・権利擁護など各分野の総合相談・専門相談による包括的な支援



「もっと知りたい」「何かをしてみたい」「相談できるところを知りたい」などのお問合せはこちらまで



南アルプス市保健福祉部福祉総合相談課

〒400-0395 山梨県南アルプス市小笠原 376
TEL055-282-7250 FAX055-282-6095



第4次南アルプス市地域福祉計画

ともに生き支えあう地域づくり

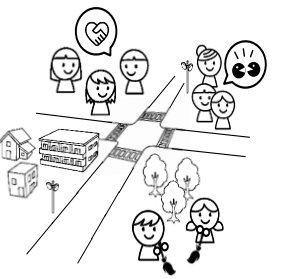
概要版

令和2(2020)年度～令和6(2024)年度
南アルプス市

幸せを実感できる地域をみんなでつくっていくための基本計画です



- ・地域福祉計画は、南アルプス市が進める福祉のまちづくりの基本となる計画です。(根拠法：社会福祉法第 107 条)
- ・少子高齢化と人口減少が進んでも、誰もが心豊かに暮らし、幸せを実感できる地域にしていくための取り組みです。
- ・地域社会が支え手と受け手にわかれるのではなく、誰もが主役として輝ける「ともに生き支えあう地域」を目指します。



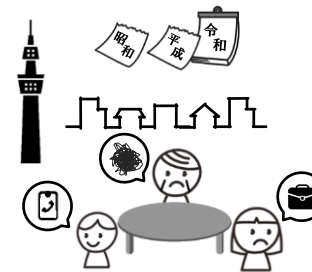
「地域福祉」とは？

- ・高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉のように「誰か」を支える福祉と違い、「地域」を支える福祉です。
- ・地域を構成する個人・団体・自治会などの様々な活動やつながりを活性化し、「誰もが主役」となる環境づくりをするのが地域福祉の目的です。

そもそも「福祉」とは？

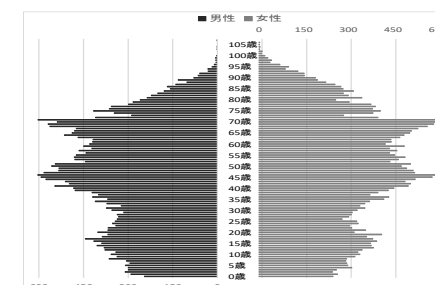
- ・特別な制度や施設をさすものでなく、もともとは「しあわせ」「ゆたかさ」などを表す2文字です。私たち1人ひとりの幸せそのものが福祉です。
- ・「ふ・く・し」の3文字にかけて「ふだんのくらしのしあわせ」と言い換えられることもあります。

「地域」は今…



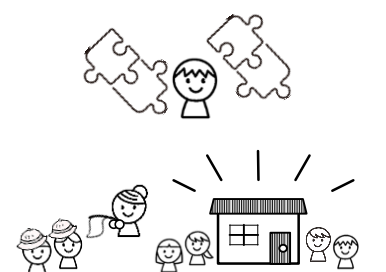
育児・介護・健康・仕事などに様々な不安をもつ人が増えています

(例)8050問題、ひきこもりの全世代化生活保護の増加、虐待、自殺など



少子高齢化・人口減少により地域社会の担い手不足が課題です

(例)自治会の高齢化と加入率の減少 役職の担い手確保の難しさ



それでも…多くの人が地域のことに関わっています

(例)自主防災、ごみ収集、見守り活動 ボランティア、市民活動など…

《計画の基本理念＝目指す姿》

ともに生き (多様性を認めあいお互いの幸せを願う)
支えあう (支えられるだけの人はいない。誰もが主役)
地域づくり (様々なつながりや活動の創出・充実)

《取り組みの方向性》

地域づくりは「場づくり」
(居場所・役割・活動などのつながりの充実)
※場 = 人と人の関係性・思いのつながり
※場所 = 物理的な地図上の点・会場・建物

《計画の内容》


3つの重点目標
6つの重点施策
次のページへ

ともに生き支えあう地域づくり ～「気づき」と「つながり」のための場づくり～

重点目標


1 多様な1人ひとりがそのままいられる居場所をつくります

1人ひとりの多様なあり方が否定されず、自分らしい生き方が受け入れられ、そのままいられる居場所があることが、生活する住民の支えとなることを目指します。




2 誰もが参加できる支えあいのしくみをつくります

お互いを認めあい支えあう心が人々に広がり、一歩踏み出そうという思いを形にしていける環境があることが、活動する住民への後押しとなることを目指します。




3 地域とつながり本人中心の相談支援を实践する支援者を育てます

どんなに困難な人にも夢や希望や充実はあると信じ、その思いを代弁し、理解を広げ、本人を取りまく地域(まわり)につなげていける支援者の存在が、みんなの安心と地域福祉推進のエンジンになることを目指します。




重点施策(場づくり)

①誰もがそのまま居られる場づくり




居場所がある
行くところがある
ここは自分の居場所だ
と思える「つながり」づくり

②自分の思いを伝えられる場づくり




話を聞いてもらえる
思いをわかってくれる
困ったら相談できる
と思える「つながり」づくり

③住民が地域のことに目を向ける場づくり




身近な地域に目を向けよう
自分にも何かできそうだ
できることをすればいいんだ
という「気づき」の場づくり

④地域の活動がつながり分かちあう場づくり




思いを共有・共感しあえる
自分の活動を再確認できる
新しい可能性に出会える
という「つながり」づくり

⑤個別支援と地域支援をつなげる場づくり



1人の暮らしを地域で支える
1人を支える地域をつくる
課題の解決をみんなで考える
という「気づき」の場づくり

⑥支援者が困っても孤立させない場づくり




支援者も「困った」と言える
多機関・多職種が協働する
あるべき支援を考える
という「つながり」づくり

市の取り組み(重点事業)

住民の関わり


♪地域支えあい協議体における居場所づくり
♪子ども若者ささえ愛基金による活動支援
♪子どもの学習・生活支援事業による個別支援

・困難を抱えている人の思いや良いところも見るようにしましょう
・「その人が安心して居られるには」を考えて関わっていきましょう




♪思いを受け止める相談支援体制の充実
♪当事者が集う場づくり
♪就労準備支援事業
♪途切れのない支援の推進

・人の話を評価したり否定したりせずまずは思いを受け止めましょう
・自分が何かに困ってもあきらめず相談できる人に相談しましょう




♪福祉教育の充実
♪南アルプス市健康リーグ
♪地域に開かれた学校教育
♪あったかカード(防災のための見守り体制)
♪民生委員児童委員や愛育会などの活動支援

・地域の人や出来事に目を向け「あれ？」という気づきを大切にしていきましょう
・日々の挨拶や声かけも大切です




♪社会福祉協議会の活動の支援
♪市民活動センターを核とした市民活動支援
♪子どもの学習・生活支援事業(再掲)
♪地域ささえ愛セミナー等の開催
♪社会福祉法人との連携・協働

・地域にある様々な活動にふれ自分の思いも発信してみよう
・思いをもつ人たちとつながり可能性を広げていきましょう



♪コミュニティソーシャルワーカー配置事業
♪地域支えあい協議体(再掲)
♪自立支援協議会や地域ケア会議の充実
♪住民とともに考える事例検討会

・困っている人の背景を理解しその人の立場で考えてみましょう
・困りごとを受け止められる地域の活動をつくっていきましょう



♪福祉総合相談体制の推進
♪支援者支援としての事例検討や研修
♪ソーシャルワーク体制の充実
♪権利擁護支援体制・成年後見制度利用促進

・支援関係者と課題をわかちあいでできることを考えてみましょう
・困っている人を排除せず見守り支える地域をつくりましょう

